

総務文教常任委員会

委員長 幸子
 委員 林 広己 男 富信 高 廣二 浩
 副委員長 石川 本 岡井 野 小 千
 委員 松 富 桜 閑 野 小 千

熊谷市職員退職手当条例の一部を改正する条例について

問 今回改正される失業者の退職手当とは、雇用保険法という失業給付に当たるものなのか伺いたい。

答 短期または懲戒免職等で退職し、求職活動している場合、失業者の退職手当として、市が直接支給するもので、手続き等は雇用保険法の規定による失業等給付と同様のものである。

(所管課・職員課)

熊谷市税条例等の一部を改正する条例について

問 医療費控除に関して、医療用から一般用に切り替えられた医療品いわゆる「スイッチOTC医薬品」であることの判断方法について伺いたい。

答 対象の医薬品には共通認識マークが表示されることになっている。さらに販売店で発行されるレシートに対象の医薬品であることを判別するマークを記載してもらえらるよう、厚生労働省から関係団体へ要望しているとのことである。

(所管課・市民税課)

工事請負契約の締結について(熊谷市立秦小学校屋内運動場建築工事)

問 今後のスケジュールについて伺いたい。

答 議決後、本契約を締結し、平成29年10月27日までの工期で電気工事、設備工事も併せて実施する予定である。

(所管課・教育総務課)

公の施設の指定管理者の指定について(熊谷市スポーツ・文化村)

問 指定管理者の審査で高い評価を受けた内容について伺いたい。

答 サービス等の機能を向上させるためのコンシェルジュ機能での来場者に対するおもてなしの姿勢、充実した食堂運営が見込まれること、さまざまな自主事業の開催や利用拡大に向けた取り組みがなされることである。

(所管課・社会教育課)

指定管理者制度

住民の福祉を増進する目的を持つ公の施設について、民間事業者等が有するノウハウを活用することにより、住民サービスの質の向上を図っていくことで、施設の設置の目的を効果的に達成するため、平成15年に設けられた制度です。

環境産業常任委員会

委員長 美 勝 志 昇一 貫生也
 委員 長 清 健 新一 弥 琢
 副委員長 田 原 林 口 山
 委員 権 栗 森 小 関 影

平成28年度熊谷市一般会計補正予算(商工費)について

問 「総合戦略」まち元気・熊谷市商品券発行事業について、発行された商品券の換金率はどれくらいなのか、また有効期限切れとならないよう、どのような対策を講じているのか伺いたい。

答 平成28年3月末時点で、27年度の商品券を換金した店舗は、約7割であったが、現時点では、ほとんどの店舗が換金している。また、市民の方には、有効期限を迎える前に商品券を使い切っていたかどうか、市報平成28年12月号等で広く周知に努めている。

問 観光協会法人化移行支援事業の概要について伺いたい。

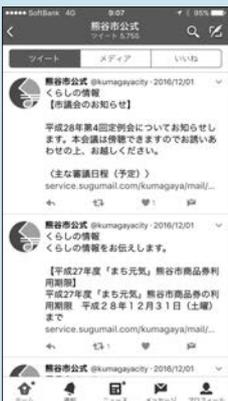
答 新観光協会として29年度4月から業務を円滑に進めるため、新規採用職員の人件費、事務所の借上料、自動車等の備品購入費などを計上した。

(所管課・商業観光課)

市議会の開催日程をお知らせします



熊谷市メール配信サービスメ
 ルくまの「くまのの情報」で議
 会の日程をお知らせしています。
 メールは開会前日に、会議日
 程をお知らせするほか、一般質
 問前日に、翌日の質問議員と質
 問項目をパソコン、スマートフ
 ォンなどに配信しています。
 登録方法は市ホームページに
 掲載しておりますので、ぜひご
 登録ください。
 また、熊谷市公式ツイッター、
 フェイスブックでも同様の内容
 をお知らせしていますので、ぜ
 ひご覧ください。



市民福祉常任委員会

委員長 勉 中島
副委員長 穂子 腰塚
委員 秋 千 賀 崎
正 夫 加 賀
美 子 新 井
宣 延 大 山
久 夫 須 永
守 野 澤

平成28年度熊谷市一般会計補正予算
(民生費) について

問 『総合戦略』三世代ふれあい家族住宅取得等応援事業で申請があった同居・近居の傾向について伺いたい。また、本申請に関し新築・増改築の発注を受けた業者の市内・市外の傾向についても伺いたい。

答 平成27年度は、合計222件の申請があり、同居が60件、近居が162件で、発注を受けた業者は、市内業者177件、市外業者45件である。

問 同事業を申請した方のうち、市外からの転入はどのくらいいたか。

答 平成27年度は、81世帯、275人の方が市外から転入された。
(所管課・長寿いきがい課)



公の施設の指定管理者の指定について
(熊谷市市民活動支援センター)

問 指定管理に選定されたNPOくまがやのプレゼンテーションにおける具体的な提案内容について伺いたい。

答 施設利用の拡大については、夜間の利用を増やすために交流スペースを拡大することや、若者の興味を引き、若者の利用につながるために予約状況をホームページで公開したり、ポスターが印刷できる印刷機を導入するなどの提案があった。また、市民活動団体への明確な支援については、運営の中心となる人物は現在、共助仕掛人として市民活動支援センターに勤務しており、いろいろな団体をつなぐ役目をそのまま業務に生かすことができるとの提案があった。
(所管課・市民活動推進課)



市民活動支援センター

都市建設常任委員会

委員長 三千夫 黒澤
副委員長 正泰 小島
委員 夫 保 久 大
衛 照 岡 松
一 兵 三
理 和 浦
裕 鈴

公の施設の指定管理者の指定について
(熊谷運動公園)

問 指定管理業務が適切に行われているかをどう監査しているのか伺いたい。

問 当施設において、指定管理を導入しても経費の差はそれほどないようだが、指定管理にしたメリットを伺いたい。

答 月に一度、市の職員が現地確認、資料調査等を実施し、管理運営状況を確認している。

問 当施設における指定管理料と直営で行った場合の経費の差について伺いたい。

答 指定管理にすることで、年間約3,500万円の経費が削減されている。
(所管課・公園緑地課)

問 今回の指定管理者の選定理由について伺いたい。

答 候補者には同様の施設の指定管理実績を有する構成団体も含まれており、また、詳細で具体的な実施事業の提案がなされているため、安定的で効率的な運営が可能と判断できる点から選定した。



屋内プール「アクアピア」



野球場

熊谷さくら運動公園